

## 令和4年度自己評価

### 東京都私立幼稚園教育水準向上支援事業費補助金を申請した経緯と報告

#### ① うさぎやうこっけいなど小動物の飼育

幼稚園では、身近に小動物を飼育し、子どもの心に豊かな感性を育てたいと願い、常にたくさんの動植物を育てている。動物では犬、チャボ、ことり、アヒル、亀、メダカ、金魚など様々な動物を保育室で飼育してきた。幼児期に小さな動物が身近にいて、餌を与え、その餌を食べるかわいい姿を見る喜びは、小さな生き物へのいとおしい気持ちを育て、豊かな人生を送る基礎を築く大変重要な営みといえる。しかし、小動物の寿命は短く、時に死を迎えて悲しみにくれる経験も伴う。

昨年は10年以上も飼育してきたアヒルやチャボ・いぬが次々と老衰でいなくなり、少々気落ちしていたところ、思いがけなくさくら3組のうさぎが5羽の赤ちゃんを産んだ。そこでうさぎの赤ちゃんが自分で餌を食べられるようになった5月から、4つのクラスでうさぎの飼育を始めたところ、園児たちは優しくなったり、エサをあげたり、トイレを洗ったりとお世話を進んでするようになった。

また、チャボもいなくなりがっかりしていたところ、保護者から農業試験場を紹介してもらい、依頼して4羽の烏骨鶏を譲り受けることができた。年長児が交代で家庭からキャベツやパンを持ってきて、幼稚園で細かく切って餌を作り与えている。烏骨鶏が元気にえさをついばむ姿を園児たちはいつも嬉しそうに観察している。

また、烏骨鶏が卵を産むようになり、園児は家庭に持ち帰って調理してもらって食べることもできている。

幼稚園で努力しないと継続できない「生き物の飼育」は、努力して継続することで園児に良好な環境を与えることが出来ると感じている。

飼育物の餌代もかなりの経費が掛かるので、教育水準向上のための営みとして教育水準向上支援の補助金を申請しました。

#### ② 音楽教育のための教員研修

園児の音楽への興味を引き出し、きれいな声で歌を歌ったり、旋律を奏でる楽しさを感じてもらえるには、教員のレベルアップが欠かせない。そこで、リトミックの永井先生と、音楽指導の深川先生に月に1度、又は年に数回園児の音感を刺激してもらうことと、教員のレベル向上のため直接指導してもらうことで、園児の音楽への興味を高め、教員の指導レベル向上につなげている。

音楽は子どもたちの日常にあふれているが、音を意識して聞き取る姿勢を作るには教員の働きかけが重要で、そのためには教員の日常的な努力と経験、さらに専門家による教員指導が不可欠と思う。

教育水準向上のための営みとして教育水準向上支援の補助金を申請しました。

#### 研修実施日程

リトミック指導（永井悦子先生）

5月17日      6月16日      7月5日      9月13日      11月15日  
1月19日      2月14日

音楽指導（深川甫先生）

5月18日      5月19日      7月6日      7月7日      11月16日  
11月17日      2月21日      2月22日

### ③ 特別支援教育研修

園児の中には特別支援が必要な子がいて、それぞれにかかわり方を工夫する必要がある、永年多くの自閉的傾向などの園児を指導してきた。今年度在籍の園児にも、コミュニケーションが成立しづらい園児への対応を考える必要がある、コロロ発達療育センターの方に教職員研修を実施してもらった。先生たちはとても熱心に話を聞き、翌日から実践に移して効果が実感できている。

また、保護者のかかわり方も重要なので、保護者向けの研修会も実施して保護者の啓発も行ったところ、大変いい効果を示している。

このように、継続して研修していかななくてはならないことを継続して研修できるように、教育水準向上のための営みとして教育水準向上支援の補助金を申請しました。

#### 研修実施日程

6月22日    園児の様子を観察し、実際の指導もしていただく。

7月8日      教職員研修

教職員向けに講演をしていただく    その後質疑

9月16日      保護者向け講演会

保護者    15名参加      熱心に質疑あり

この講演会後に、発達療育センターに通い、積極的に学ぶ保護者もいた。

### ④ 月と星を見る会

昨年、この教育水準向上のための補助事業で、預かり保育の園児たちのために天体望遠鏡を買わせていただき、夜が早く訪れる10月から、月や星を望遠鏡で観察してきた。

今年度も5月から開始を予定し、夕方が明るい時期なので、「まだ白い月」や「七夕の星」を見る計画をしたが、雨の為実施できなかった。

夏休みに講師の高橋先生に科学遊びをお願いし、空気を使った風船遊びなど楽しい遊びを提供してもらい、そのあとで「月と星を見る会」の予定としたが、やはり曇っていて星

を見ることはかなわなかった。

昨年度の反省として、星を見ることを楽しみに待っていても、思いのほか星が動くのが速いことで、ピントを合わせるのが大変で、大勢の家族が長い列を作ってしまうことがあった。そこで、天体望遠鏡をもう1台購入し、1台で月を、もう1台で星を見るようにして、1台がピントを合わせている間に、もう一つの望遠鏡でも見られるように改善した。

10月からようやく天気が安定し、上弦の月を見たり、月蝕を楽しんだりできたので、この頃は園児が自らピントを合わせることも出来るようになり、繰り返し夜空を見上げることで望遠鏡を見るときも、そうでない時も星や月に関心を寄せるようになってきた。預り保育の園児だけでなく、通常の時間に帰宅している園児の多くが家族で関心を持ち、夕方の時間に集まってきている。

天体望遠鏡のように高価な道具がないと実現できない活動だが、これからも継続して2台の望遠鏡を活用し、月と木星、土星と金星・火星など、夜空に光る月や星の姿を観察して園児の興味を広げていけるように、教育水準向上のための営みとして教育水準向上支援の補助金を申請しました。

実施日（天候不順で中止した日も含む）

5月13日（雨）      6月10日（雨）      7月16日（雨）

8月4日   科学遊び実施      夕方は曇りで星は見えず）

9月8日（雨）

10月3日      上弦の月を見る

11月8日      月蝕を見る

11月7日      木星を見る      （曇っていて木星以外は見えず）

11月18日   宇宙ステーション（ISS）をみんなで見よう

（望遠鏡は使わずに6分間ISSの光を観察）

1月24日      （雨の為31日に延期）      上限を過ぎた月と木星を観察

2月24日      （雨の為28日に延期）      上弦翌日の月、金星、木星、火星を観察